

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要	
事業開始年度	平成12年(狂犬病予防事業) 平成19年(感染症予防事業)
大項目	04 土台となる政策「安全・安心」
中項目	06 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち
小項目	23 生涯を通じた健康づくりの推進
事務事業名	17 感染症予防事業
根拠法令・例規等	狂犬病予防法・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
問 担当課(室)	保健課
合 職・氏名	健康係長・江見清人
先 電 話	64-1820
このシート作成に要した時間	時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	①犬の所有者 ②被災住民等
目 的 (何のために)	①犬の登録、狂犬病予防注射を推進することで狂犬病の発生を予防する。 ②災害時における感染症及び新型インフルエンザ等の感染症の発生と蔓延を予防する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	①狂犬病予防注射の接種率の向上 ②感染症情報等により、早期に必要な対策を実施する

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
①狂犬病予防事業	犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付を行うことにより、狂犬病の発生を予防し蔓延を防止する	○
②感染症予防事業	災害時における消毒等の防疫活動及び感染症予防の衛生教育を行う 新型インフルエンザ等の予防啓発を行う。	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
決 算 額	事業費	千円	300	369	389	
	必要人員	人	0.33人	0.36人	0.92人	
	必要人員単価	円	2,459	2,373	5,165	
	事業費計	千円	2,759	2,743	5,554	
	国庫支出金	千円				
受 益 者 負 担	千円	1,228	1,155			
繰 入 金	千円					
市 債	千円					
その他( )	千円					
一 般 財 源	千円	1,531	1,588	5,554		
受 益 者 負 担 比 率	%	44.5%	42.1%	-		
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結 果 指 標	結果指標量	説明	狂犬病予防注射済票(550円)交付数	1,418	1,393	1,410
	対前年比	%	-	98.2%	101.2%	
	活動コスト	円	2,759,000	2,742,000	5,554,000	
	単位当たりコスト	円	1,946	1,968	3,939	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
狂犬病予防注射接種率	目標値(A)	70	70		70
	実績値(B)	67.30	66.6		到達目標値
	達成率(B/A)	96.14%	95.14%	#DIV/0!	70
成果指標設定の考え方・式や説明					
(狂犬病予防注射済票の交付/年度末犬登録頭数) × 100 狂犬病の流行を抑えるためには、70%以上の予防接種率が望ましいとされている。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託金)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	民間業者で受けた場合犬の注射済票の交付が必要なことの周知を図るため、広報を行う。 民間業者で受けた等の理由による予防注射済票未交付犬対策として、登録原簿の精査を継続する。 新型インフルエンザ行動計画策定に向けて情報収集等を行う。						

総合評価	
狂犬病予防事業に関しては、予防注射の接種率の向上に努めているが、民間業者で受けた犬の注射済票の交付が少ないため接種率が低下していると思われる。狂犬病予防の観点から犬の登録、狂犬病予防注射の必要性を周知するとともに、民間業者で受けた犬の注射済票の交付向上も目指す。 感染症予防事業では、インフルエンザ予防接種などが主なものであり、今後も感染症の流行の動向を見て迅速な対応ができるよう平素からの体制整備が必要である。	総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	狂犬病予防注射済票の交付が必要なことの周知をより一層回り、接種率の向上を図る。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら